

和合

No.121

2018. 2. 20

題字：三浦修次



主な掲載記事

おらほのあつまり！	2
むかしあそび	2
こんにちは！亀ノ尾の里資料館です	3
はやぐおっきぐなれの～！	4
よつぱつ通信	5
6年生のみんなが願う和合の里	5
こんにちは 保健師です	6
わどう駐在所	6
健康レシピ	7
皆さんの功績に大きな拍手	7
もっしえけの！まだ、かだつでの～！	8
和合の里INFORMATION	10

おらほのあづまり!

～南野新田編～

[おらほの部落では、こげだなしたなやの]

昭和58年に集落で結婚披露宴が催されることになり、若い人達で「余興として他と違う出し物をしよう」という意見が出されました。

幸いなことに当集落には、大黒舞を舞っていた実績があり「八幡神社」に畳を奉納したと昭和29年の記録と写真が掲げてあります。



当時、舞っていた方々3名がご存命だったこともあり、伝承のためにも大黒舞をやりたいとご指導をお願いしたところ、快諾をいただき練習をスタートしました。練習の成果もあり、披露宴では大絶賛を受けました。

それを機に、南野新田大黒舞保存会を立ち上げ活動をはじめました。形態としては女舞で女性衣装であり、男性が舞うのは珍しいとのことで、衣装も個々に合わせてオーダーメイドとなっています。

現在、会員9名で活動しており「お祝いごと」「敬老会」「同級会」等で披露する場が増えています。会員の年齢構成は40代から70代であり、今後も大黒舞本来の「豊穰の神」「田の神」として「福の神」を皆様にお届けすべく活動してまいります。



むかしあそび

雪すべり

空き地に雪を積み上げて坂をつくり、そり、竹ばんばなどですべった。吹雪でできた吹山に坂をつくりすべったこともある。

出典：『昔のあそび』
(ダシ風物語記念館 館長 長南一美氏 著)

雪合戦

敵、味方に分かれて雪だまをつくり、相手に投げて当たった子は陣地を去り、残った子が少なくなると集中攻撃にあった。

一定時間内に残った子の多い組みが勝ち。組みかえして何回もやった。





こんにちは! 亀ノ尾の里資料館です

— 企画展 —

「雛(ひな)人形展」



期 間

平成 30 年 3 月 1 日(木)～4 月 3 日(火)

時 間

午前 9 時 00 分～午後 9 時 00 分



※3 月 6 日(火)は、
清掃の為、午後 3 時～9 時



庄内では、ひな祭りを 3 月 3 日または月遅れの 4 月 3 日に行います。

昔はひな人形とともに絵紙が飾られ、紅白のあられや菱餅、甘酒などを作りひな菓子を供えました。当時、錦の衣装を付けたひな人形を飾る家は、大きな商家や地主といった家にしかなく、子ども達は連れ立って村々の家を回りおひな様を見て歩き、訪問を受けた家では、羊羹や寒天、甘酒などをご馳走して歓迎しました。

一方、庶民の間でおひな様として親しまれてきたのが手近で安価に求められる土人形でした。庄内地方では、瓦職人が本業の合間に人形を焼いたため、「瓦人形」と呼ばれ、鶴岡(鶴岡土人形)や酒田(鵜渡川原人形)で作られてきました。旧暦ひなの節句の頃に大きな重い荷を背負った雛売りが一軒一軒売り歩き、親は子供の幸福や成長を願い毎年 1 個ずつ、あるいは子どもが生まれた時には 2 個と買い増し残してきました。



みなさんのご来館をおまちしております

— 道具図鑑 —

竹ぱんぱ

竹で作ったスケート。冬の子どもたちの遊び道具として使われた。

半切した丸竹の前方・両端を斜めに切り、縄や布裂の鼻緒をすげたもので、材質や下駄を履いたときの音から名づけられた。



こまぶっつけ

地面で回っている相手のこまに、自分のこまをぶっつけて倒した。ぶっつけることができない時は、両手に持ったひもをこまの軸にあて、相手のこまにぶっつけて倒すこともできた。

もちろん投げ下ろした自分のこまは回っていかねばならない。

小さいこまを喧嘩ごま、大きいこまを出べそごまと言った。





渡部 さく 朔ちゃん

南興屋

平成 29 年 1 月 17 日生まれ

パパ：ゆたか裕 ママ：ちなつ千夏

- 1 将来への可能性を願いに込めてつけました。
- 2 朝起きるとじじのひざの上で新聞とテレビを一緒に
見ること。
- 3 仕事が終わって保育園に迎えに行くと大粒の涙を流
して待っていたこと。
- 4 買い物かごから食品トレイを出してかじって食べて
いたこと。
- 5 いろいろなことを体験して大きく育ってね。パパと
ママと朔の3人で一緒に成長していこうね。

パパ&ママにインタビュー

はやぐおっきぐなれの～!

Q 1 / 名前の由来は?

Q 3 / 最近記憶に残ったエピソードは?

Q 5 / パパママからのメッセージ

Q 2 / 今一番の興味やはまっていることは?

Q 4 / パパママの失敗談 (子育てあるある)

小林 しずく 穩空ちゃん

南野

平成 29 年 2 月 28 日生まれ

パパ：ひでのぶ秀信 ママ：ちえ千恵

- 1 穏やかに、空のように広い心を持った子に
育ててほしいと願い穩空にしました。
- 2 お父さんの眼鏡をはずしたり、つけたりして
遊ぶのにはまっています。
- 3 お姉ちゃんの歯磨きの仕上げの時は、自分も
一緒になって仕上げを手伝います。
- 4 引き出しから全部ひっぱり出して遊ぶようにな
ったので、こうなる前に対処しておくべき
でした。
- 5 素直で元気に育ってほしいです。



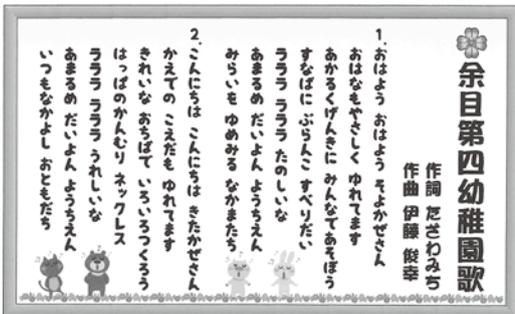
余目第四幼稚園
創立40周年！

余目第四幼稚園 よつぱっこ通信

昭和53年、この場所に第四幼稚園として誕生してから40年になり、小学校や公民館に隣接した幼稚園、地域に密着した幼稚園として歴史を重ねてきました。開園当時は6クラスあり、140名の園児が通っていました。40年間で、卒園した方はなんと1,900人もいて、現在各方面でご活躍なさっていることと思います。今、在園している子のお父さんやお母さんも第四幼稚園に入った方が多くいました。



▲記念の運動会やお楽しみ会で誕生日のお祝いをしました



▲園歌の掲示ボードが新しくなりました

「泥山ってツルツルして面白い」「おにぎり作って食べたよね」「サッカーやドッチボールが楽しい」「南野駅から電車に乗ったんだよね」など日々様々な経験を通して成長している子ども達です。一人一人が目をキラキラと輝かせて、夢中になって取り組み、さらに大きく成長していくことを願いつつ、たくさんの楽しい思い出が詰まった幼稚園、大好きな幼稚園となるよう努めていきたいと思ひます。今後とも、和合の里の皆様から温かく見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

6年生のみんなが願う和合の里



しおん 皆川 紫音

【廻館】

ぼくは、今よりもっときれいで豊かな場所になって、生き物もたくさんいるところになってほしいです。



こうた 渡部 晃大

【吉方】

自然豊かで、たくさん子どもたちが楽しく元気に遊んでもらいたいし、生き物もたくさんいる、にぎやかな和合の里になってほしいです。



せりな 長谷部 芹奈

【古関】

私は、いつまでも和合の里が自然豊かな里であってほしいし、笑顔があふれる楽しいところにしていきたいです。



あこ 相馬 亜子

【中野】

地域の人達みんなが親しく、あいさが広がる今の和合の里が未来にも続いてほしいし、今以上に良い地域になってほしいです。



こんにちは
保健師です!

庄内町保健福祉課
渋谷 麗
(第四学区担当)

冬のおふろは危険がいっぱい! ～入浴の正しい知識を身につけよう～

【庄内地区の入浴事故6つの特徴】

- 1 入浴事故の119番通報の4人に1人が死亡している
- 2 交通事故死より約4倍以上多い
- 3 高齢者が多い
- 4 自宅での入浴事故は死亡につながりやすい
- 5 寒い日の発生が多い
- 6 持病のない人でも発生している

※庄内地区入浴事故実態調査(H21.11.1～H25.4.30)より

問合せ先 ◆健康推進係(余目保健センター) ☎42-0170
◆健康福祉係(立川庁舎) ☎56-3392

【安全おふろ8つのポイント】

- 1 体調が悪い時、お酒を飲んでから、食後1時間以内、血圧降下剤、安定剤、睡眠薬の服用後は入らない。
- 2 脱衣所には暖房機を置き、浴室は浴槽のふたを開けて暖めておく。
- 3 お湯の温度は41度以下にする。
- 4 入浴前後は十分な水分補給をする。
- 5 浴槽に入る前は足、腰などからかけ湯をして体を慣らす。
- 6 家族に一言かけてからお風呂に入る。(何かあった時に気付いてもらえる)
- 7 浴槽のふたを目の前に置き、半身浴をする。半身浴は心臓への負担を軽くし、もしもの時にふたによりかかることができる。
- 8 浴槽からあがる時はゆっくり立ち上がる。急に立ち上がると血圧が低下する。たちくらみに注意。

※庄内保健所(庄内41プロジェクト)
「山形県の安全おふろの入浴術」より引用

昨冬の雪害による人的被害は、92件発生し、5人が死亡、87人が負傷しています。除雪作業に伴う雪害の発生を防止するため、次のことに注意しましょう。

屋根の雪下ろし時の注意

- ◆動きやすい服装で、命綱、ヘルメットを着用し、はしごはしっかり固定しましょう。
- ◆軽くて雪が付きにくいスコップやスノーダンプを使い、2人以上で作業しましょう。
- ◆十分な休憩をとりながら作業し、体調の悪いときは無理をせず中止しましょう。



雪害による死亡者が9名
昨年比+6名に

除雪機による作業時の注意

- ◆回転部に雪が詰まったら、必ずエンジンを切って回転部が停止したことを確認しましょう。
- ◆回転部はエンジンを切っても惰性で回転していることがあるので、手や足を入れないようにしましょう。

落雪による被害の注意

- ◆屋根からツララや雪塊が落下して怪我をする事故があるので、軒先には特に注意しましょう。
- ◆軒先の雪庇やツララを除去するときは、屋根からの落雪を考え、安全な方法で作業しましょう。

わごう 駐在所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



雪害の防止について

健康レシピ 豚肉のりんご巻



◆材料 (4人分)

- 豚ロース肉(うす切り)……12枚
- 塩・こしょう……………少々
- りんご……………1個
- サラダ油……………大さじ1
- A { しょう油……………大さじ1と1/2
- 酒……………大さじ2
- 砂糖……………大さじ1と1/2
- ほうれん草……………200g

◆作り方

- 1 りんごは皮をむき、芯を取り12等分にする。
- 2 豚ロース肉は広げ、うすく塩、こしょうする。
- 3 ほうれん草は食べやすい長さに切り、茹でる。
- 4 Aの調味料を合わせておく。
- 5 りんごをぶた肉で巻く。フライパンにサラダ油をいれて全体に焦げ目が付くように回しながら焼く。
- 6 焼き目が付いたらAの調味料、ほうれん草を加えて絡める。お皿に盛り付けする。

◆ポイント

- ◎りんごを巻いた肉は、巻終わりを下にしてから焼くときれいにできます。

祝 皆さんの功績に大きな拍手!! ～受賞おめでとございます～

平成29年度 庄内町総合表彰式

1月9日(火)に響ホールで開催され、それぞれの分野で功績のあった方々へ表彰状、感謝状が贈られました。

- 【表彰状】富樫 透(沢新田) 元庄内町議会議長
 鶴巻 善範(廻 館) 元庄内町消防団長
 齋藤 真希(南 野) スポーツ振興(陸上)
 長谷部達也(古 関) スポーツ振興(ウエイトリフティング)
- 【感謝状】阿部 隆一(大真木) 元大真木行政区長
 長南 統(連 枝) 元庄内町統計調査員

平成29年度 庄内町体育協会表彰式

1月14日(日)に狩川公民館で開催され、今年度は多くの方々がさまざまな競技で活躍し受賞されました。今後の更なる活躍が期待されます。

- 【勲功賞】陸 上 齋藤 真希(南 野) 鶴岡工業高校2年
- 【栄光賞】陸 上 上野 太土(吉 方) 四小6年
 卓 球 加藤 光咲(主殿新田) 四小4年
 加藤 杏奈(主殿新田) 四小6年
- 剣 道 齋藤真紀子(西 袋) 日本体育大学2年
 齋藤 真子(西 袋) 余目剣友会
 齋藤 真実(西 袋) 株式会社マルミチ
 梅木 眞美(前田野目) 株式会社マルミチ
- バスケットボール
 國井 美砂(返 吉) 鶴岡信用金庫
 佐藤 夢衣(南 野) 鶴岡信用金庫
- 空手道 渡會 大翔(吉 方) 四小3年
- 余目中ソフトボール部
 齋藤 璃奈(連枝) 2年 加藤 綾乃(主殿新田) 2年
 高橋 咲菜(西袋) 2年 阿部ひな子(廻 館) 2年
 川井 桜(古関) 2年 佐藤花奈佳(南 野) 1年
- ソフトボールオール庄内壮年
 池田 周(小出新田) 渋谷 宏之(南野) 小林 忍(連枝)
- サッカー 瀬川 美桜(南野) 酒田南高校1年
- アームレスリング 門脇 充(前田野目) KAINADO
- ウエイトリフティング 長谷部達也(古関) 酒田光陵高校3年
- 水 泳 大倉 愛梨(前田野目) 四小6年
- ボート 五十嵐雅統(本小野方) 酒田光陵高校2年
- 【奨励賞】陸 上 富樫 奈菜(小出新田) 四小6年
 卓 球 奥山 堅也(古 関) 遊学館高校1年
 土田 萌葉(廻 館) 余中1年
 渡部 優利(吉 方) 余中1年
- 剣 道 富樫 啓吾(本小野方) 余中3年
- 女子ソフトボールスポーツ少年団
 門脇明日香(連 枝) 四小6年
 齋藤愛梨沙(連 枝) 四小5年
 門脇 南(連 枝) 四小4年
- 水 泳 相馬 蓮(中 野) 余中3年
- 体 操 佐藤 華音(大真木) 四小2年

もっしえけの!まだ、かだっでの~!

平成29年度 第四公民館事業参加者の声

放課後子ども教室「わごうの広場」

キラキラとまばゆいばかりの朝日を受けて、今朝の鳥海山、月山はその凛とした佇まいを一層美しくしています。ここ和合の里、亀ノ尾の里には、いにしえの人々が守り続けてきた数知れない英知と歴史が静かに今に受け継がれています。そのことを強く感じさせていただいたのは、今年の第四小学校の学習発表会でした。いずれも素晴らしい発表ばかりで、中でも「和合の里のお祭り」の躍動感に溢れる子ども達の様子と伝統の息吹は、深く胸に染み入るものがありました。

放課後子ども教室「わごうの広場」は、こうした地域の大切な子ども達の放課後の居場所として第四公民館で共に学び遊び、地域の方々と過ごしてもらうために開催されています。学校からすぐの通い慣れた我が家のような公民館で子ども達はいきいき、のびのびと広場での時間を楽しみ、かけがえのない体験を積んでいるように思います。



和合の里に穏やかに暮らす人々にとって、激変する環境の中にあっても、いつまでも住み続けたいと思える心豊かな地域であることを願い、子ども達には和合の里のぬくもりを伝えていければと思います。

【教育活動推進員 水尾 理恵さん(南野)】

みんなと一緒に勉強をして、わからないところは友だちと教え合うのでとても楽しいです。美尋ちゃんと桃ちゃんと雪遊びやおにごっこをしてとても楽しかったです。鳥海山登山は桃ちゃんと仲良く登れました。来年度も参加してみんなとなかよく遊びたいです。

【3年 加藤 結愛さん(主殿新田)】

いつもわごうの広場で楽しく遊ばせてくれてありがとうございます。鳥海山では、結愛ちゃんときょう力して登れました。ちょうど結愛ちゃんと咲ちゃんと3人でお弁当を食べて楽しかったです。来年度も友だちと楽しく遊びたいです。

【3年 相馬 桃さん(中野)】

みんなと雪遊びをしたり、おにごっこをしたりして楽しかったです。わたしは結愛ちゃんと桃ちゃんと遊ぶことが多かったです。また、わごうの広場で遊びたいです。

【3年 三浦 美尋さん(小出新田)】

※放課後子ども教室「わごうの広場」は庄内町からの委託事業です。



▲左から結愛さん、美尋さん、桃さん

おやこ元気塾に参加して、家族だけでは行動できなかった場所へ足を運ぶことができました。

5月の最上川舟下りでは、堤防からの眺めと乗船して眺める景色がこんなにも違うものだと思います。7月の六瀬砂防堰堤での川遊びは、昭和27年に完成した歴史ある場所で、長さが157メートルもあり、浅瀬のため海水浴では味わえない川ならではの楽しさを娘と共に体験しました。9月、秋のごちそう（おはぎといも煮）作りは、地域の方々から作り方を教わり、美味しい旬の味覚を味わいました。10月の干し柿作りは、知っているようで意外と知らなかったと実感しながら親子で完成を待ちわびていました。

おやこ元気塾は「和合」の文化に根ざした企画で、地域の方々のご協力もあり、今年も娘と共に貴重な体験をさせていただき感謝申し上げます。

【父 由則さん】



おや
元
気

和合大学院“悠遊塾”

寒さが続き、家の中で過ごす時間が多くなりました。しかし、春からの畑仕事などのために体を休息させるいい機会でもあるかもしれません。

あつという間に時間が過ぎ、気づけばもう70近く。心身共に充実していたのは50代のころかなと思います。しかし、そのころは家庭の事情でなかなか自分の時間がとれずにいました。最近ようやく自分の時間が持てるようになったので、いろいろな行事に参加することにしました。

以前から自分の中で少しでも何かに挑戦したいと思う気持ちが常にあり、一人では何もできませんが、皆さんと一緒なので、社会科見学、相馬樓の舞娘鑑賞、大石田の新そばまつり、健康講座などいろいろな体験や経験をさせていただき大変勉強になりました。少しでもこれらのことを吸収できたことに感謝しています。これからも健康に気をつけて、多くの仲間と楽しい時間を過ごせたらと思っています。



【本間 定子さん(福島)】

和合歴史民俗塾

【大谷 豊茂さん(小出新田)】



広報でこの塾を知り、参加の申込みをしました。塾を通じて地域の方々と楽しく交流ができ、また歴史民俗も学べ、まさに「一石二鳥」ありがたいことでした。

初回の「修験集落上寺探訪に向けて」では通称上寺蔵岡には何度か行っており、かつて「龍頭寺」を学頭として修験者の活動拠点となり、宿坊集落の面影を残し、通過儀礼と一体を成す芸能「蔵岡延年」は、県指定無形民俗文化財であります。面識のある講師の伊藤宮司の講話を拝聴し、勉強させていただきました。2回目の「樽平酒造」現地研修では、昔からの醸造を続けており、酒をたしなむ者にとって有意義でした。また、3回目の「新庄まつり」では、20の「山車」を特等席でじっくり堪能させていただきました。少子高齢化の昨今、人手不足を老若男女皆力を合わせ、保存に取り組む意気込みに感動しました。来年度の企画も楽しみにしています。

和合歴史民俗塾では、今まで見たこともない文化財に触れる貴重な機会と思い参加しました。

開講式の後、鳥海山信仰の講義を受け、蔵岡が修験道として栄えたことを聞き、当集落でも鳥海山信仰が残っていた頃、代参する人達は一晩作業所に泊まり、身を清め、白装束で蔵岡にお参りに行った話を思い出し、改めて鳥海山信仰の奥深さを思い知りました。2回目は現地研修で川西町の樽平酒造に行きました。「掬粋巧芸館」では中国や朝鮮から収集した陶磁器の説明を受け、その歴史を知る良い機会でした。酒蔵ではこだわりの製造工程と吉野杉の樽を使った酒造りの真髓を聞きました。また、蔵の所々に貼ってあった「お酒のマナー8箇条」や「酒5訓」を興味深く見て自分に言い聞かせ、その夜は樽平酒造の酒に酔いしれました。

毎回、貴重な民俗芸能、史跡、美術品や建造物を見学し、歴史と由来の講義を受けて大変有意義な時間を過ごすことができました。

【渡部 隆信さん(吉方)】

おこ
気塾



おやこ元気じゅくにさんかして、5月のもがみ川舟下りでは、川のながれが強かったけど楽しかったです。わたしがすむさわしん田は、田んぼの向こうにもがみ川が流れていて、むかしは物をはこぶ大事なやく目をしていたとはじめてしりました。7月は川あそびをしました。水がながれているところでおよいで楽しかったです。

9月は秋のごちそう、おはぎといもを作って食べました。おはぎは米をつぶすのが大へんでめがねがくもって少しあせったけど、うまくつぶせてよかったです。いもには、さけかすを大きいなべに入れる時、こわくて少ししか入れられなかったけど、またいもに作りがあったら、さけかすをいっぱい入れられるようにがんばって作りたいです。

【2年 長南 蘭美さん(沢新田)】



和合の里
INFORMATION

和合の里振興計画策定にむけ研修会を開催

1月20日(土)、特定非営利活動法人きらりよしじまネットワーク(川西町吉島地区)から高橋由和事務局長を講師にお招きし研修会を行いました。

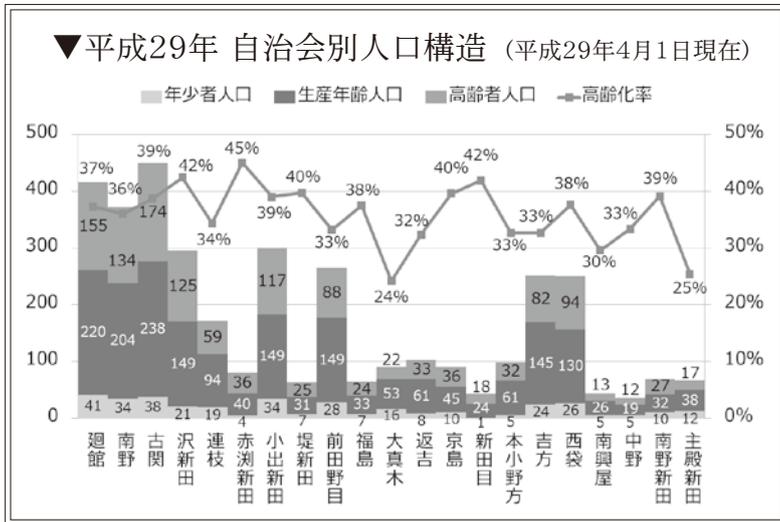
この研修会の目的は、昨秋に地域の皆様からご協力いただいた住民アンケートの結果等をもとに地域の課題を探るもので、前半は講師からアンケート結果から見る和合の里の



▲研修会の様子

実情や川西町吉島地区での地域づくりの実践方法の説明を受け、後半はワークショップを行い、参加メンバーが各々感じている地域の課題と対応策について考え、グループ内で発表しました。2時間という少ない時間でしたが、この研修会を機に、これからも持続する和合の里を目指して、話し合いを重ね、今後、振興計画づくりを進めていきます。

※以下の図は、研修会の資料から抜粋



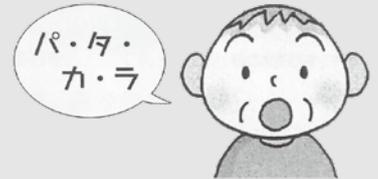
—前田野目老人クラブ健康講座— 『お口の健康を守ろう』

1月28日(日)、前田野目老人クラブの新年会で口腔ケアをテーマに健康講座が行われました。本誌「こんにちはは保健師です」担当の渋谷麗氏(庄内町保健福祉課)を講師に、口腔ケアの大切さについて、お話しを聞きました。

高齢者の死亡原因として多い「誤嚥性肺炎」は、食べかすから繁殖した口内の細菌を、気道から吸い込んでしまうことで起こる肺炎ですが、これは食後の丁寧な歯磨きや、定期的な歯医者への通院など、口内を清潔に保つことが予防になります。



また、軟らかいものばかり食べたり、人と話す機会がほとんどない…などという『口の寝たきり』状態は要注意で、歌や早口言葉などの口腔トレーニングを行うことが大切と学び、参加者全員で「パ・タ・カ・ラ」と発音する簡単な口の体操をして健康講座を終えました。



編集後記

先日、友人に誘われ10数年ぶりにバスケットをしました。体育館に向かうまでは昔のように格好よくシュートを決める自分を想像してウキウキしていましたが、いざパスが回ってくるとドリブルすら覚束ない状態で「頭ではこうしているつもりなのに体がついてこない!」を実感しました。人生の諸先輩方が「何もないところ(頭の中では軽やかに足をあげているつもり)でつまずく(実際は全然足が上がっていない)」気持ちが少し理解できるようになった、まだまだ元気な(はずの)アラサーです。

余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

3月6日(火)

清掃日のため午後3時からの利用になります。

【お詫び】 季節の都合で「畑にこんにちは」のコーナーは、今号までお休みとさせていただきます。